メガピクセルネットワークカメラ　設置要領書（工事全般）　Ikegami

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。設置工事の際は本書のほかに取扱説明書（導入編）をご覧下さい。

1. 設置時のご注意

設置工事の際は以下の点にご注意下さい。

・水のかかるところや、湿気の多いところでは使用しないで下さい。
・周囲温度が-10℃以下の寒いところ及び+50℃を越える暑いところでは使用しないで下さい。画像や部品に悪影響を与えるだけでなく、故障の原因になります。
・カメラハウジングに収容する場合はハウジング内部の温度にご注意下さい。この場合はハウジング内部の温度がカメラの周囲温度になります。
・カメラのケースは、絶対にあけないで下さい。
内部には精密部品が入っており、故障や事故の原因になります。
・設置工事や接続の際は、必ず電源を切って下さい。
・運搬の際にカメラを落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。
・レンズマウントの内部には手指をふれないで下さい。
・カメラを太陽に向けないで下さい。
・オートアイリス（自動絞り）レンズの場合、調整が不十分なことが原因で絞りが安定しない(ハンチング)、十分な光量が得られない等の現象が起こります。このような場合はセットアップにてレンズ絞り（IRIS LEVEL）の再調整を行って下さい。
・レンズのフォーカス機能を最良の状態でお使いいただくためには、フランジバック（レンズ取り付け面から撮像面までの距離）の調整を行って下さい。
・本製品の性能を最大限に引き出すため、メガピクセルカメラ専用のレンズをお使い下さい。

2. IP アドレスの設定

IP カメラでは IP アドレスの設定が必要です。あらかじめ IP アドレス、サブネットマスクを設定して下さい。設定内容はネットワーク管理者にお問い合わせ下さい。

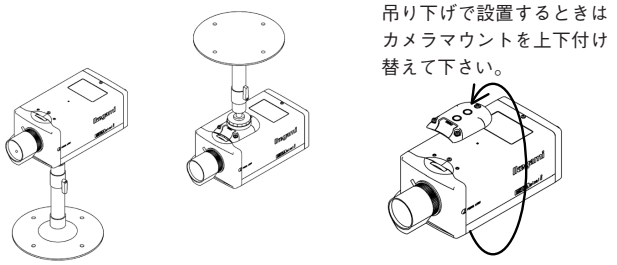
設定方法は取扱説明書（導入編）の**「6-4. セットアップ3」**をご覧下さい。

これらが適切に設定されていない場合、映像は配信されません。

3. 設　置

カメラホルダーに取り付けた場合（例）

カメラホルダーに取り付けてお使いいただく場合の例です。



カメラマウントの取り付け例

カメラを設置する場所にカメラホルダーを固定して下さい。カメラホルダーを固定する場所が、カメラとカメラホルダーの重量に耐えられることをご確認下さい。取り付け面の材質を考慮したネジをお使い下さい。

カメラをカメラホルダーに取り付ける場合、カメラマウントを上下付け替えることにより吊り下げによる設置が可能です。

！注意！
カメラホルダーの建物等への固定はカメラとホルダーの重量を考慮して下さい。
カメラのカメラホルダーへの取り付けは1/4" -20UNCのネジをお使い下さい。
ネジの長さはカメラマウントへのねじ込み長が4.5～5.5mmとなるものをお選び下さい。

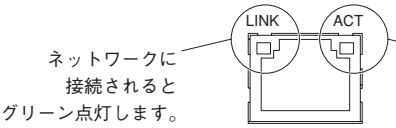
4. ケーブルの接続

イーサネットケーブルの接続

Ethernet 10Base-T/100Base-TX に対応しています。

カテゴリー 5 以上のケーブルをお使い下さい。ケーブルは 1 ～ 100m の長さでお使い下さい。

接続時にはモジュラーコネクターが確実にロックしたことを確認して下さい。



本機は PoE（Power over Ethernet）に対応しています。

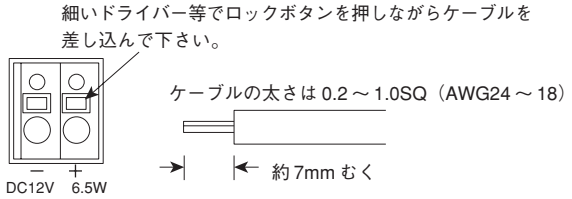
PoE 給電型 HUB をお使いの場合、電源は PoE HUB から供給されますので、次の「電源電圧の確認」と「電源ケーブルの接続」は必要ありません。

電源電圧の確認（DC12V で電源供給する場合）

電源を接続する前に電源電圧が DC10.5V ～ 15V であることを確認して下さい。

電源電圧確認後は一旦電源を切ってから接続作業を行って下さい。

電源ケーブルの接続（DC12V で電源供給する場合）



接続できるケーブルの太さは 0.2 ～ 1.0SQ（AWG24 ～ 18）です。

接続時は必ず電源を切って下さい。

ケーブルの先端は約 7mm 被覆をむいて下さい。短過ぎる場合は端子台への十分な差し込みができずに外れたり、接触不良を起こしたりします。また、長過ぎる場合は端子台から露出する部分でショートする恐れがあり危険です。

極性に注意して下さい。但し、極性を間違えてもただちに破損には至りません。

5.「故障かな？」と思ったら

「故障かな？」と思われる場合、症状に応じた確認を行って下さい。症状が解消されない、またはこれ以外の症状の場合はお買い上げの販売店にご相談下さい。

症　状	ご確認いただくこと	
映像が表示されない	パワーインジケーターが点灯していない場合は「パワーインジケーターが点灯していない」の確認を行って下さい。	
	レンズの制御コネクタは確実に接続されていますか？	
	オートアイリスレンズをお使いの場合、レンズは DC アイリス仕様ですか？（本機は DC アイリスのみの対応です）	
	レンズのキャップは外されていますか？	
	IP アドレス、サブネットマスクは合っていますか？	
パワーインジケーターが点灯していない	PoE 電源供給	HUB（およびお使いのポート）は PoE 対応ですか?
		HUB の電源は入っていますか？
		LAN ケーブルは確実に接続されていますか?
	DC12V 電源供給	電源電圧は DC10.5V ～ 15V ですか？
		電源ケーブルの先端処理は適切ですか？
		電源ケーブルの太さは適切ですか？
映像がぼけて見える	再度フォーカスを調整して下さい。	
	レンズはメガピクセル専用レンズをお使いですか？	
	レンズに汚れはありませんか？	
映像が明るい／暗い	レンズの絞りを調整して下さい。	
	撮像エリアに部分的に明るいところがある場合は、取扱説明書に従い、BACKLIGHT CMP. を設定して下さい。	
設定変更できない	MENU LOCK が ON ではありませんか？	

※詳しくは取扱説明書（導入編）をご欄下さい。

NN-U014285-01

メガピクセルネットワークカメラ　設置要領書（レンズの取り扱い）

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。設置工事の際は本書のほかに取扱説明書（導入編）をご覧下さい。

6. レンズ選定時のご注意

CS マウントレンズに対応しています。C マウントレンズをお使いになる場合は、別売の C マウントアダプタをお買い求め下さい。

レンズはメガピクセルカメラ専用レンズをお使い下さい。

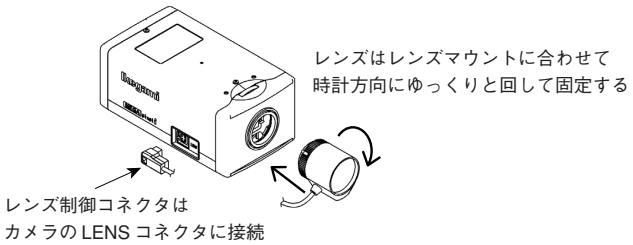
オートアイリスレンズは DC アイリスレンズをお使い下さい。

7. レンズの取り付け

カメラのレンズマウントにレンズを合わせ、ゆっくり時計方向に回して取り付けて下さい。レンズの制御ケーブルはカメラの LENS コネクタに差し込んで下さい。

レンズをカメラに取り付ける時には、カメラを水平からやや下向きに傾け、カメラ内部にゴミが入らないようにして下さい。

レンズ面およびレンズマウント内部を手指で汚さないように注意して下さい。手指の汚れがレンズマウント内部に付着した場合、画面に影のように現れることがあります。



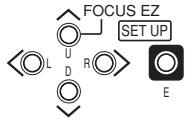
！注意！
1．カメラ内部にゴミが入らないようにして下さい。
2．レンズマウント内部をさわらないで下さい。
3．レンズ面を汚さないで下さい。

レンズ制御コネクターの結線は取扱説明書（導入編）をご覧下さい。

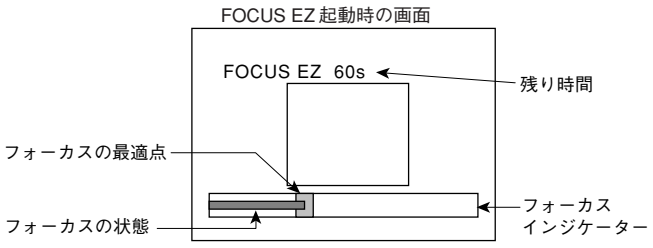
8. FOCUS EZ 機能

フォーカスを合わせるときは FOCUS EZ 機能をお使い下さい。

詳細は取扱説明書（導入編）の「**7. FOCUS EZ 機能**」をご覧下さい。



FOCUS EZ ボタンを 2 秒間押し続けると
FOCUS EZ 機能が 1 分間起動します。
再度、FOCUS EZ ボタンを押すと
動作時間が 30 秒延長されます。



※フォーカスの状態を最適点に合わせて下さい。

！注意！
1．Ethernetでの配信映像には遅れがあります。フォーカスの調整はVIDEO OUT のアナログ映像でモニターすることをお奨めします。
2．以下のような場合、フォーカスインジケーターは十分な精度が得られません。
(1) 動きがある映像。
(2) 照度が不安定／暗い／極端に明るい。
(3) 無地の壁のような均一面。
(4) 映像にタテ方向の線が少ない。
(5) レンズが汚れている。

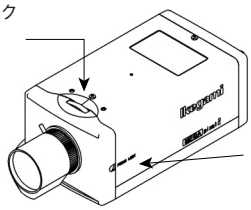
9. 画角（撮像範囲）とフォーカスの調整

フランジバック調整

レンズのフォーカス機能を最良の状態でお使いいただくためには、フランジバック（レンズ取り付け面から撮像面までの距離）調整が必要です。

フランジバック調整リング（①）は固定ネジ（②）でロックされていますので、調整する時は固定ネジをゆるめて下さい。調整後はネジを締めて下さい。

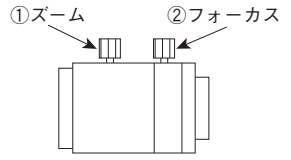
！注意！
IPD-BX110では、リモートフランジバック機構のため調整リングは動かさないで下さい。
操作方法は取扱説明書をご覧下さい。



※締めすぎはネジを破損します。
推奨トルク　0.07N･m

バリフォーカルレンズ

バリフォーカルレンズは簡易的なズームレンズです。通常のズームレンズと異なり、ズームを調整するたびにフォーカス調整が必要です。



バリフォーカルレンズ（例）

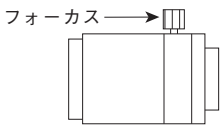
！注意！
ズーム／フォーカスのつまみは固定ネジを兼ねていることがあります。
その場合はネジをゆるめてから調整して下さい。
詳しくはレンズの取扱説明書でご確認下さい。

1．フランジバックの調整
(1) 10m 以上離れた場所を映す。
(2) FOCUS EZ を起動する。
(3) ズーム（①）を T（TELE：望遠）側一杯にする。
(4) フォーカス（②）を F（FAR：遠）側一杯から少し戻す。
(5) フォーカスインジケーターを見ながら、この状態でフォーカスが合うようにフランジバック調整を行う。
(6) 調整後、フランジバック固定ネジで調整リングを固定する。

2．画角とフォーカスの調整
(1) FOCUS EZ を起動する。
(2) ズーム（①）で画角を調整し、ロックする。
(3) フォーカスインジケーターを見ながらフォーカス（②）を調整し、ロックする。
バリフォーカルレンズはフォーカス調整により画角が変わります。
目的の画角になるように(2)(3)を繰り返して下さい。

固定焦点レンズ

フォーカス調整機能のついた固定焦点レンズでは以下の手順でフォーカスを調整して下さい。



固定焦点レンズ（例）

！注意！
フォーカスのつまみは固定ネジを兼ねていることがあります。
その場合はネジをゆるめてから調整して下さい。
詳しくはレンズの取扱説明書でご確認下さい。

(1) 10m 以上離れた場所を映す。
(2) FOCUS EZ を起動する。
(3) フォーカスを F（FAR：遠）側一杯から少し戻す。
(4) フォーカスインジケーターを見ながら、この状態でフォーカスが合うようにフランジバック調整を行う。
(5) 調整後、フランジバック固定ネジで調整リングを固定する。
(6) 設置場所と被写体に合わせてレンズのフォーカスを微調整し、ロックする。

NN-U014285-01